

# 見つけよう防災の種

今回も引き続き加古川グリーンシティ防災会考案の防災ゲーム「災害ハンター」を体験しよう。前回までに「日常の備え」「災害発生の瞬間」「災害発生直後」今回は「地震発生から3時間後」のラストステージスタート！ 答えはAかBでお答えください。

【最終ステージ】あなた自身の対応を学びます。

## 【クエスト31】

安否確認をしたい場合、どのような判断を？

- A. 災害用伝言板を利用する
- B. 電話が通じるまでかけ続ける



## 【クエスト32】

けが人がいた場合、どのように対処を？

- A. 知識がないので放っておく
- B. 知識はないがその人に声掛けをする



## 【クエスト33】

倒れている人がいた場合、どのような判断を？

- A. とりあえず声を掛ける
- B. 知らない人なので放っておく



## 【クエスト34】

心停止の可能性のある人がいる、どのような行動を？

- A. 心肺蘇生法を試みる
- B. 誰かが来るまで待つ



## 【クエスト35】

「AEDを持ってきて！」とあなたは？

- A. AEDを知らない
- B. AED設置場所を知っている

## 【クエスト36】

下敷きになって抜け出せない、あなたは？

- A. 食べ物を与える
- B. 水分を与える



## 【クエスト37】

トイレが使えない、あなたは？

- A. 簡易トイレを作っている
- B. そのあたりでする

## 【クエスト38】

会社に出社しなければなりません。でも家族が大ケガをしている。会社に出社しますか？

- A. 出社しない
- B. 責任があるので会社に出社する

## 【クエスト39】

あなたにとって大切なものとは？どちらを選ぶのか？

- A. 仕事が最優先
- B. 家族の安否

※答えは防災会ホームページで確認！

今年は防災ゲームの「クロスロード」と「災害ハンター」をご紹介しました。いかがでしたか？

災害発生時の判断は、判っていても中々行動に移すことができないもの。でも、ゲームを通して一度でも経験していれば、短時間で命を守る行動と判断ができ

ようになるのではないのでしょうか？防災学習は必要だと判っていても「面白くない・興味が湧かない」そんなものです。でも、ゲーム感覚で「楽しく」という要素を取り入れることで、身近なものにすることができ、また、楽しいことは記憶に残りやすく、ゲームとして「みんなで楽しく防災を学ぶ」と単に記憶する（知っている）だけではなく、「理解することで行動に移せる」という利点があります。みなさんも自分たちで「**防災ゲームをやりませんか？**」楽しく防災活動と一緒にやりましょう！

## = 防災伝道師（防災会長 大西）の独り言 =

今年も全国各地域にお伺いし防災講演を行い、多くの方々とお話をさせて頂く貴重な機会を与えて頂きました。感謝申し上げます。それらの地域で感じたことを少しだけお話しさせていただきます。

多くの地域では「防災活動」と称して、通報・初期消火・避難誘導・応急処置・避難所運営・炊き出し・備蓄等、災害発生後の事後処理活動をしています。

これらは「生き残った人だけが助け合うシステムの構築」をしているだけなのです。言い換えれば「災害発生の瞬間に亡くなった人は対象外！」ということです。多くの人は、自分が生き残ったことを大前提として活動をされているようです。防災活動は、着眼点をどこに置き、どのように活動をすれば良いのかを定義することから始める必要があります。第一は「災害発生の瞬間に死なない対策の重要性」です。死なないための事前準備こそが「本当の防災活動！」ではないのでしょうか。にもかかわらず災害発生後にだけ目を向けてしまう地域が多いようです。

「もしもの時に人を助けるための活動をしています」という活動は、一般市民がすべき防災活動の最重要項目ではありません。重要な防災活動とは「**私は死にません！**」という人たちを増やすことが最も重要なことです。言い換えると「他人の命を守る活動」ではなく「自分の命を守れる活動」これが防災活動なのです。これらは東日本大震災後に多くの人々が学んだ「**津波てんでんこ**」そのものなのです。「自分の命を守れる人」の集合体が町を創り上げることができれば、それこそ強靱な防災力のある町になります。そんな町はどうしたらできあがるのか？それは簡単な行動から可能になります。「**あいさつ**」です。挨拶を通してお互いに信頼できる人を増やすこと。「私は大丈夫。あの人も大丈夫。絶対に逃げている」という「お互いに信じ合う」信頼なのです。そう信頼できれば、不用意に「逃げたかなあ」と確認に行き命を亡くさなくてもよいのです。「**絶対に逃げて生きている**」「**命を守る行動をとっている**」とお互いに信じ合うことができる活動をしましょう。**その為に大切な人と防災会議を！**